

呉市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果～概要版～

1. 調査概要

(1) 目的

本調査は、子ども・子育て支援法に規定される子ども・子育て支援事業計画の策定の基礎となるニーズ調査の実施及び集計・分析を行う。

(2) 調査対象

市内の未就学児童が属する世帯 3,000

※市内 18 地区の配布割合は、18 地区の人口比（未就学児童）で設定した。

(3) 調査方法内容

①調査記入方式

アンケート自己記入方式

②調査票の配布・回収

郵送による配布・回収

③調査期間

平成 25 年 12 月 30 日～平成 26 年 1 月 14 日

(4) 回収状況

(5) 回収状況

項目	内容	備考
配布	3,000	
回収	1,815	
回収率	60.5%	

(6) 報告書の見方

①図表中に示すNは、回答数総数のことである。

②割合はNを 100.0%として算出し、図表中の構成比(%)は、小数点第 2 位以下を四捨五入したため、合計が 100.0%にならない場合がある。

③回答が 2 つ以上ありうる複数回答は、比率の合計は 100.0%を超える場合がある。

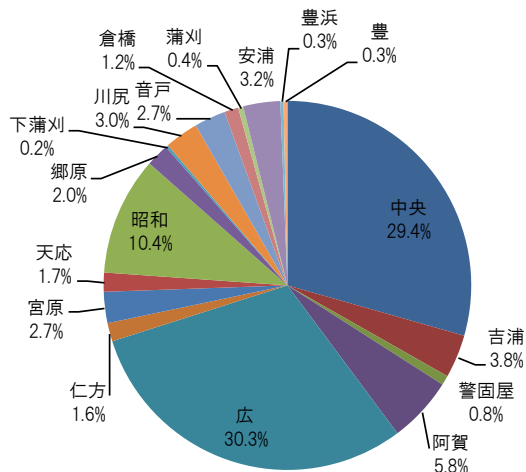
④図表中の表記として、見やすさを考慮したため、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%など）は割愛している場合がある。

⑤類似他市との比較では、他市アンケート結果の「無回答」「不明」を除いて再集計、比較をしている。

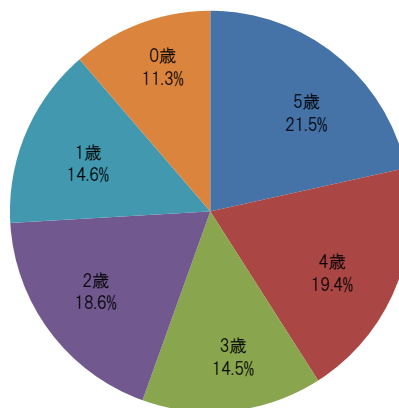
2. 調査結果

(1) 子どもと家族の状況について

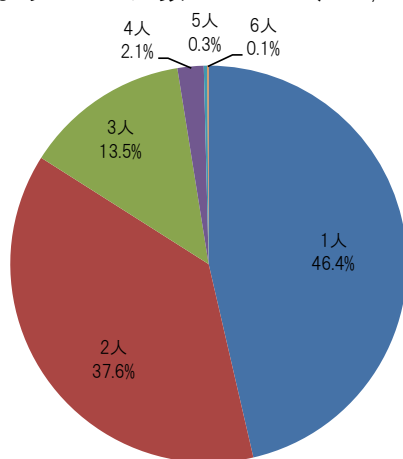
問1 居住地区について (N=1,788)



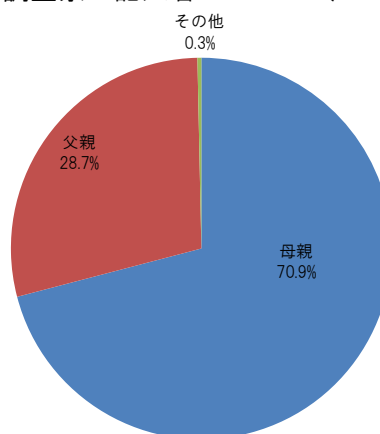
問2 子どもの年齢について (N=1,802)



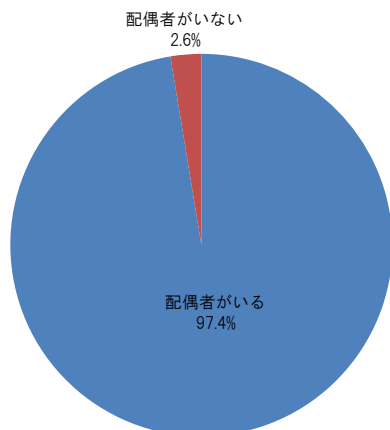
問3 きょうだいの人数について (N=1,781)



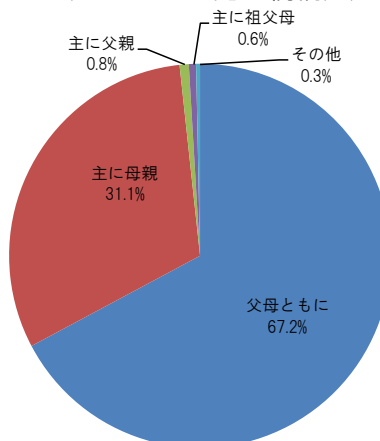
問4 調査票の記入者について (N=1,809)



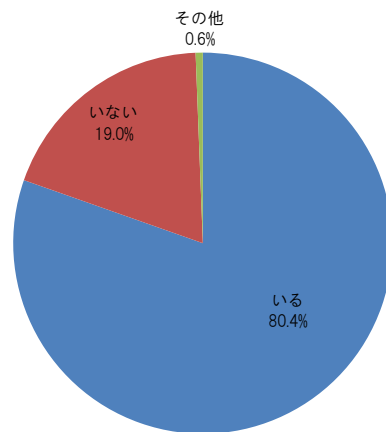
問5 調査票記入者の配偶関係について (N=1,808)



問6 子育て（教育含む）を主にしている方について（子どもから見た続柄）(N=1,806)

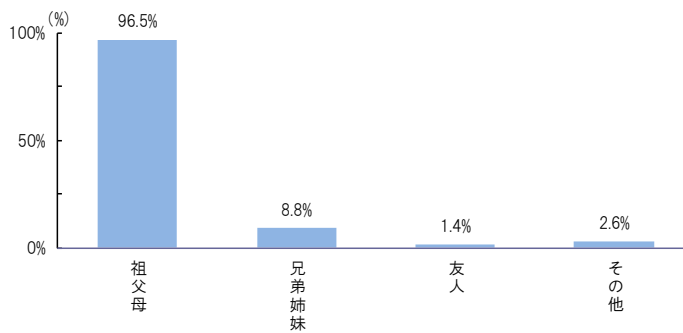


問7 子育てを支援する方が市内にいる (N=1,808)

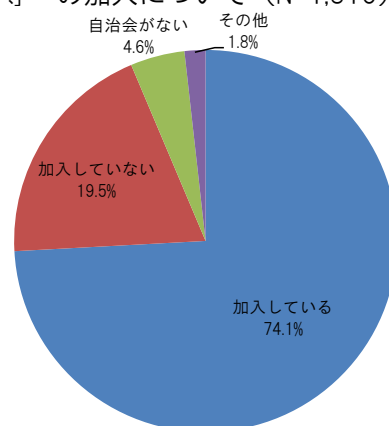


【「①いる」の方】

問7-1 その支援者の子どもから見た関係について (N=1,453)



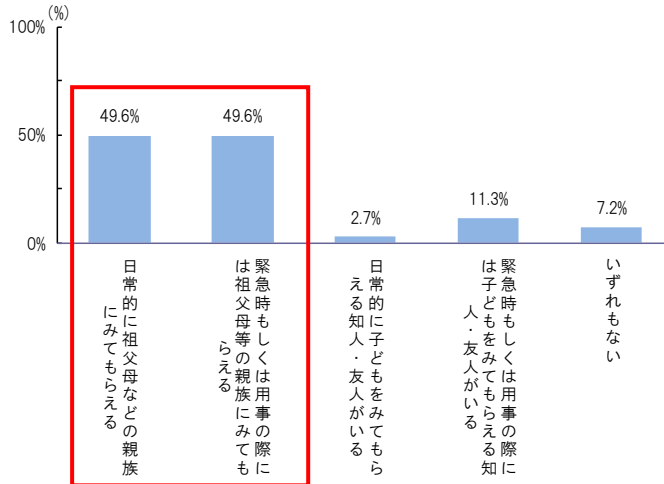
問8 居住地域の自治会等への加入について (N=1,810)



(2) 子どもの育ちをめぐる環境について

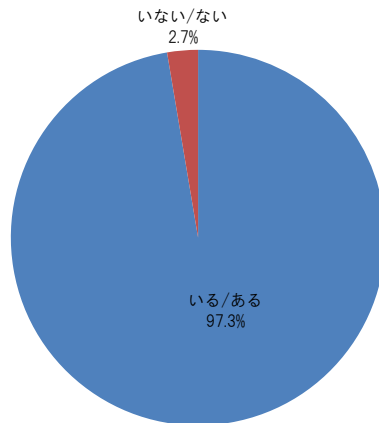
問 11 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人について (N=1,809)

・日常的、緊急時にかかわらず祖父母等の親族にみてもらおうと回答した人が約 50%と多い。



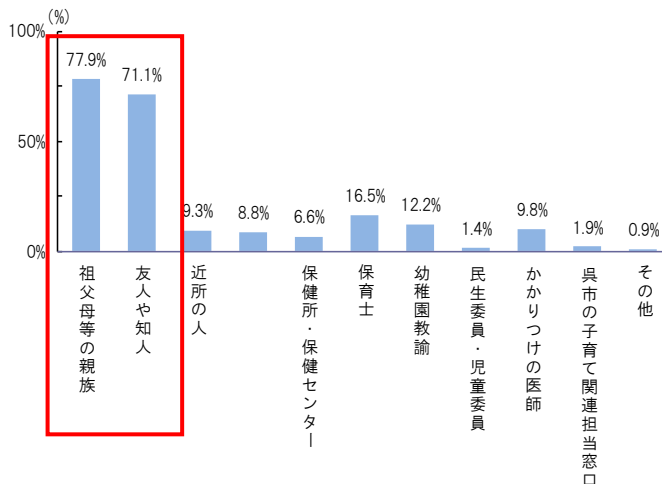
問 12 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）について (N=1,809)

・多くの人が気軽に相談できる人（場所）がいる（ある）と回答している。
 ・相談相手の多くは、「祖父母等の親族」（77.9%）、「友人や知人」（71.7%）と、身近な人が多い。



【「①いる/ある」の方】

問 12-1 子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手について (N=1,757)



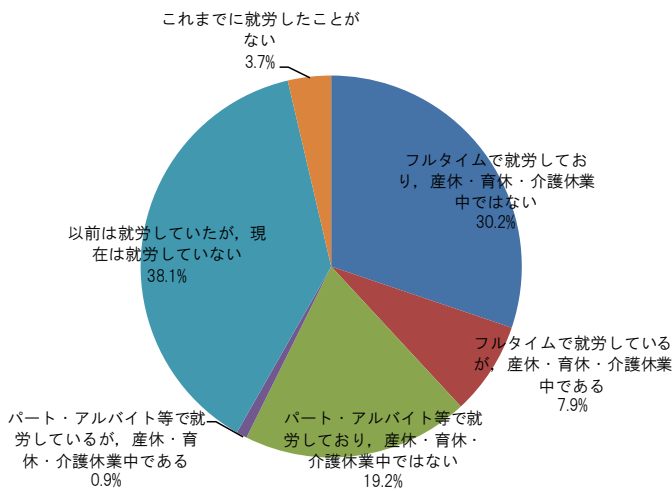
(3) 保護者の就労状況について

問 14 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について

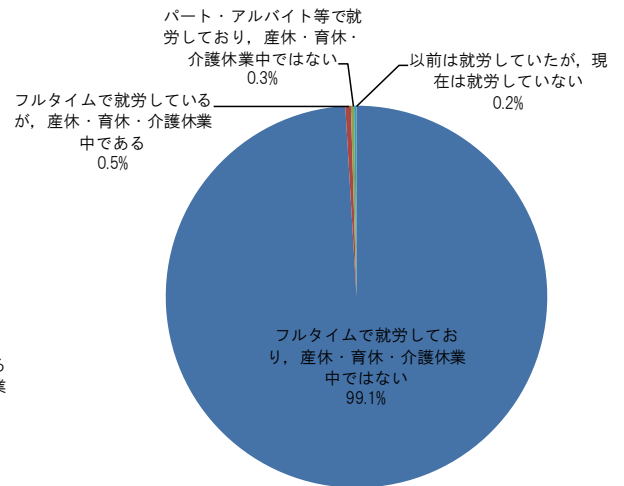
(1) 父母の就労形態について

- ・母親の約 58%は、フルタイム、パートタイム・アルバイト等の形態にかかわらず就労をしている。父親は大半がフルタイムで就労している。
- ・母親の約 42%は現在就労していない。
- ・母親、父親ともに週 5 日以上、1 日 8 時間以上の就労が多い。

a. 母親 (N=1,772)

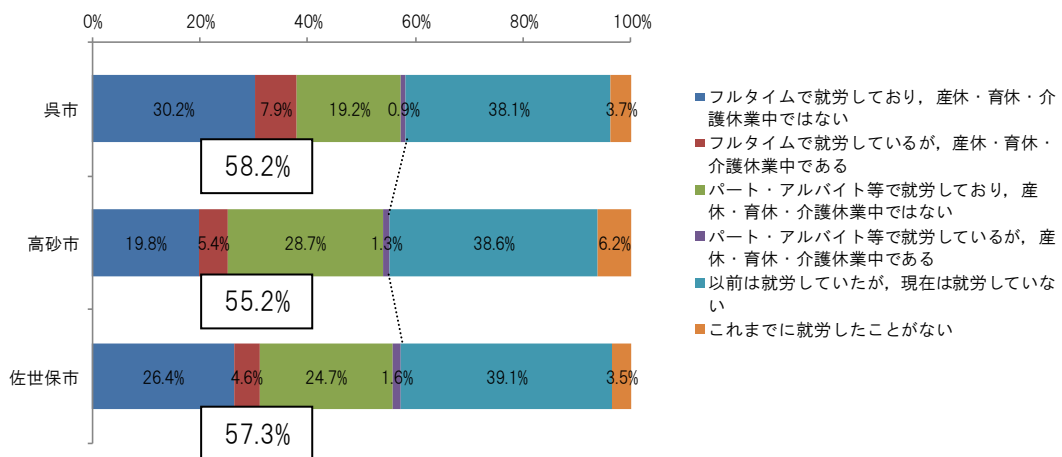


b. 父親 (N=1,492)



【類似他市（高砂市、佐世保市）との比較】

- ・類似他市との比較では、本市と比較して高砂市、佐世保市ともに「フルタイム」での就労は少なく「パート・アルバイト等」での就労が多い。
- ・「フルタイム」、「パート・アルバイト等」にかかわらず何らかの形態で就労している割合では、本市の割合は佐世保市と同程度の約 58%で高砂市よりもやや多い。



(2) 就労日数、就労時間

【就労日数】

No.	項目	母親		父親	
		人数	割合	人数	割合
1	1日	4	0.4	1	0.1
2	2日	15	1.5	0	0.0
3	3日	74	7.2	11	0.7
4	4日	78	7.6	10	0.7
5	5日	770	74.7	996	67.2
6	6日以上	90	8.7	463	31.2
	有効回答数	1,031	100	1,482	100
	無回答	1		7	
	合計	1,032		1,489	

【就労時間】

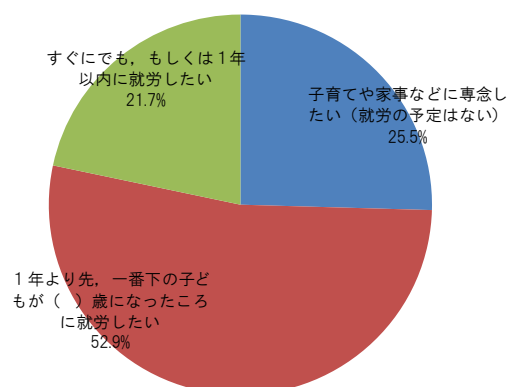
No.	項目	母親		父親	
		人数	割合	人数	割合
1	～4時間未満	33	3.2	3	0.2
2	4～6時間未満	179	17.4	4	0.3
3	6～8時間未満	209	20.3	21	1.4
4	8時間以上	610	59.2	1,438	98.1
	有効回答数	1,031	100	1,482	100
	無回答	1		27	
	合計	1,032		1,489	

【(1)のa. 母親で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」を選ばれた方】

問16 就労希望について(母親)

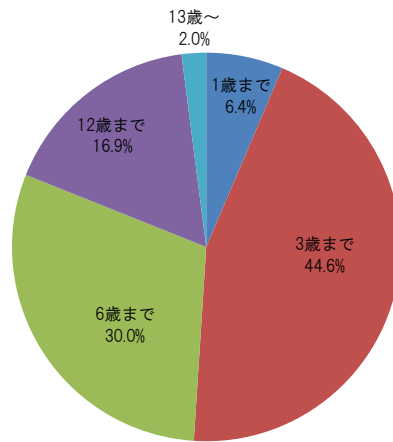
- ・母親の今後の就労希望については、「1年より先の就労」希望が約53%と多い。
- ・内訳としては、「3歳まで」(約45%)、「6歳まで」(約30%)など末子が保育所(幼児)、小学校に入る段階が多い。
- ・「すぐにも、もしくは1年以内に就労」を希望する人(約22%)のうち、希望する就労形態は「パートタイム・アルバイト等」が約88%と多い。

a. 母親(N=664)



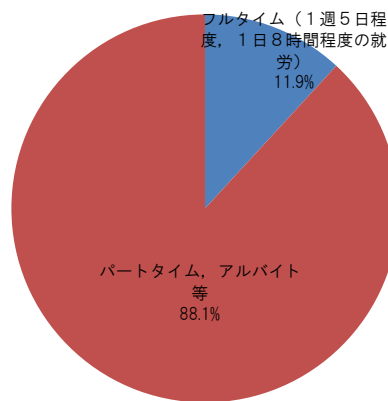
【「②1年より先に就労したい」の方】

■一番下の子が（ ）歳になったころに就労したい（N=343）



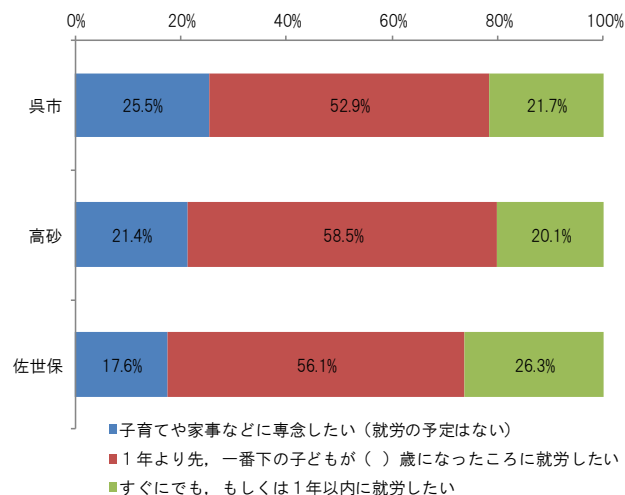
【「③すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の方】

■希望する就労形態について（N=135）



【類似他市（高砂市、佐世保市）との比較】

・類似都市との比較では、本市は「子育てや家事などに専念したい」が多く、「1年より先に就労したいは」他市よりも少なく、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は高砂市と同じく約21%で佐世保市（約26%）より少ない。

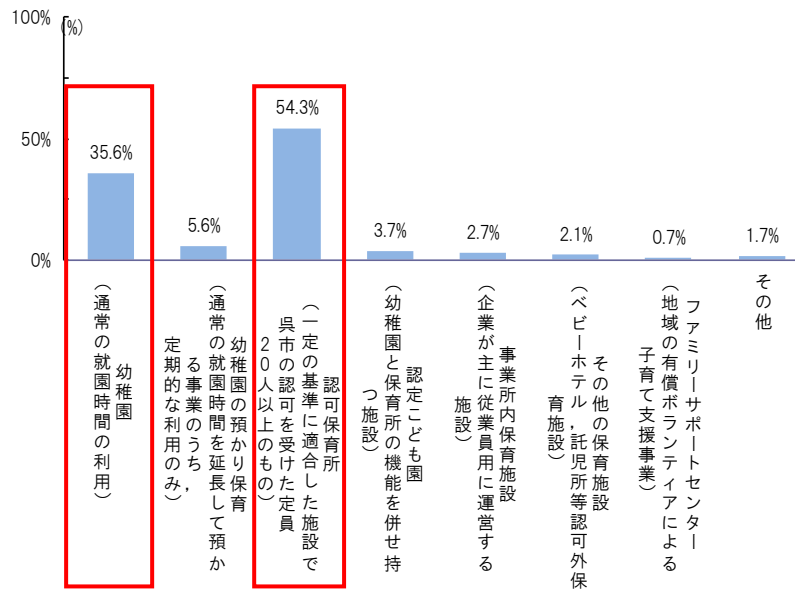


(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

【問 17 で「1. 利用している」を選ばれた方】

問 17-1 平日の教育・保育事業の利用について (N=1,194)

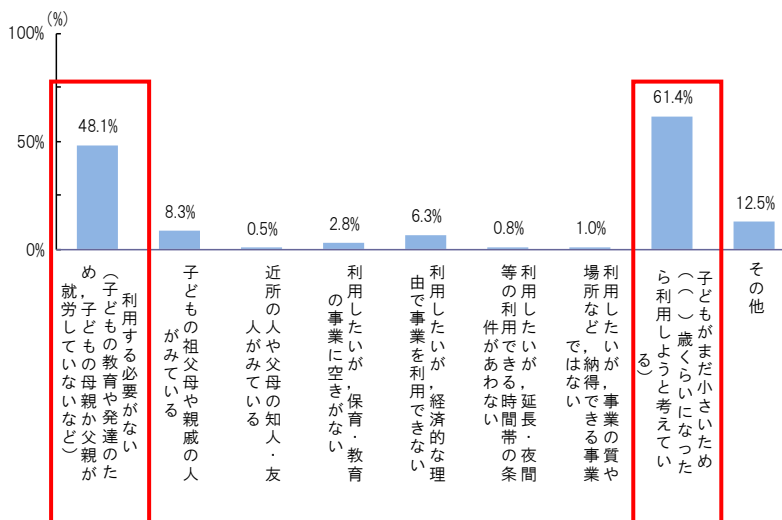
・平日の教育・保育事業の利用については、認可保育所（約 54%）、幼稚園（約 36%）が多い。



【問 17 で「2. 利用していない」を選ばれた方】

問 17-4 利用していない理由について (N=599)

・平日の教育・保育事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」(約 61%)、「(子どもの教育・発達のためや父母等が就労していないため) 利用する必要がない」(約 48%) が多い。



【すべての方に】

問 18 平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業について (N=1,753)

- ・ 今後利用したい教育・保育事業については、「幼稚園」、「認可保育所」が多い。
- ・ 利用したい順で見ると、第2希望では、「幼稚園の預かり保育」が多く、第3希望では、「小規模な保育施設」、「認定子ども園」が多い。

No.	項目	第1希望	第2希望	第3希望	第4希望	第5希望	第6希望	第7希望	第8希望
1	幼稚園 (通常の就園時間の利用)	766	255	116	47	36	14	7	4
2	幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)	45	397	167	116	61	39	15	6
3	認可保育所 (一定の基準に適合した施設で呉市の認可を受けた定員20人以上のもの)	722	315	195	101	33	9	5	3
4	認定こども園 (幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	117	185	264	187	50	23	6	7
5	小規模な保育施設 (一定の基準に適合した施設で呉市の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)	30	154	276	111	156	56	8	3
6	家庭的保育 (保育者の自宅等で5人以下の子どもを保育する事業)	5	14	24	37	40	71	70	43
7	事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	46	181	53	140	59	75	58	15
8	その他の保育施設 (ベビーホテル、託児所等認可外保育施設)	7	13	13	15	11	19	44	54
9	居宅訪問型保育 一定の資格要件を満たす保育者が子どもの家庭で保育する事業)	5	8	9	9	6	20	37	55
10	ファミリーサポートセンター (地域の有償ボランティアによる子育て支援事業)	6	20	165	68	135	34	46	79
11	その他	4	5	2	1	1	0	0	0
有効回答数		1,753	1,547	1,284	832	588	360	296	269
無回答		62	268	531	983	1,227	1,455	1,519	1,546
合計		1,815	1,815	1,815	1,815	1,815	1,815	1,815	1,815

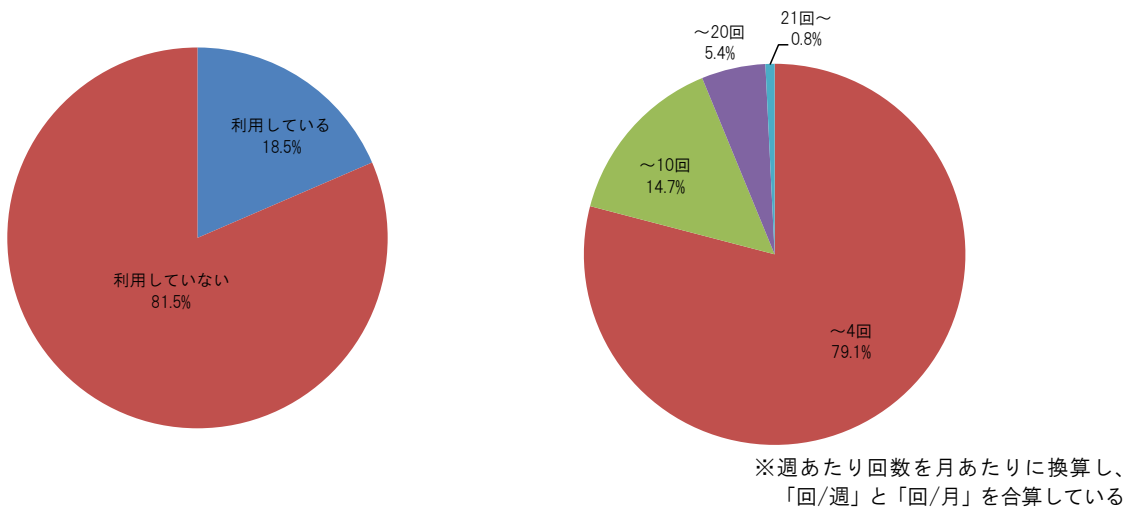
(5) すべての方に、地域の子育て支援事業の利用状況について

問 19 現在の地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談や情報提供を受けたりする場である「つどいの広場」「子育て支援センター」等）の利用について（N=1,747）

- ・地域子育て支援拠点事業の利用については、「利用している」は約 19%である。
- ・利用頻度で見ると、週あたりでは「1回」、「2回」（約 79%）、月あたりでは「～4回」（約 93%）が多く、利用頻度は少ない。
- ・育児教室や育児相談等のサービスは利用実績が少ないが、「今後利用したい」が約 50～55%となっており、今後の利用が見込まれる。

【「①利用している」の方】

■利用回数（頻度）【月あたり】（N=258）



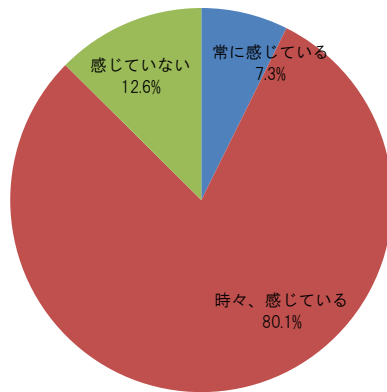
問 21 下記の事業を知っているものやこれまでの利用について

※「はい」を回答した割合

No.	項目	知っている	利用したことがある	今後利用したい
1	保健センター等で実施している育児教室・育児相談	92.5%	46.3%	55.2%
2	保健センターの情報・相談事業	80.4%	27.8%	49.9%
3	地域子育て支援センター ※一部の保育所等で実施 （子育てに関する相談，子育て情報の提供）	82.6%	33.1%	45.3%
4	サロン・サークル等の交流事業	62.6%	16.8%	28.8%
5	婦人相談・家庭児童相談・児童療育相談 （離婚，いじめ，DV，子どもの発達など）	68.1%	4.5%	22.5%
6	ショートステイ，トワイライトステイ （児童養護施設等で休日，夜間，子どもを保護する事業）	18.9%	0.5%	10.8%
7	病児・病後児保育事業	46.1%	6.1%	35.4%
8	くれ子育てねっと （子育てに関する情報HP）	79.5%	41.5%	63.3%
9	キッズくれ （子育て情報誌）	78.3%	34.9%	57.9%

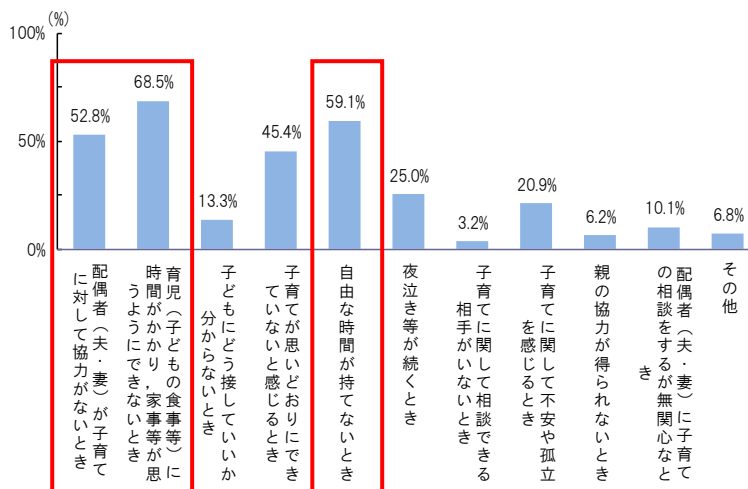
問 22 子育て中のストレスについて (N=1,810)

- ・子育て中のストレスについては、「常に感じている」「時々、感じている」をあわせた約87%が何らかのストレスを感じている。
- ・ストレスを感じる状況については、「育児に時間がかかり、家事等が思うようにできないとき」(約69%)、「配偶者が子育てに対して協力的でないとき」(約53%)が多い。



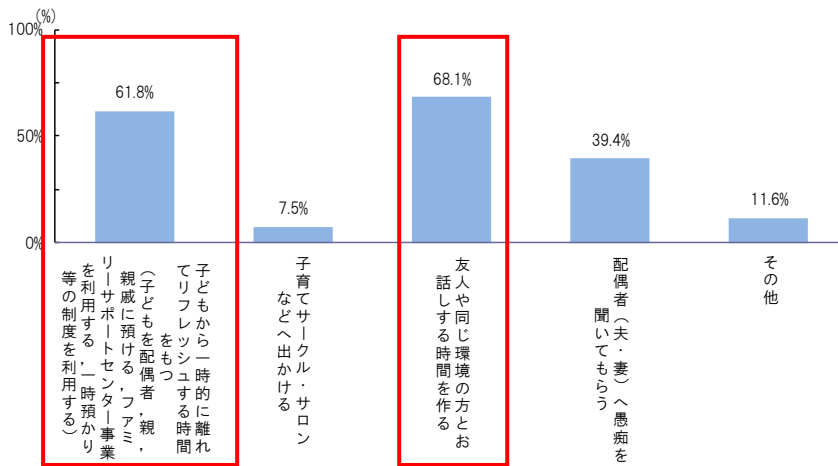
【「①常に感じている」、「②時々、感じている」の方】

■ストレスを感じる状況について (N=1,577)



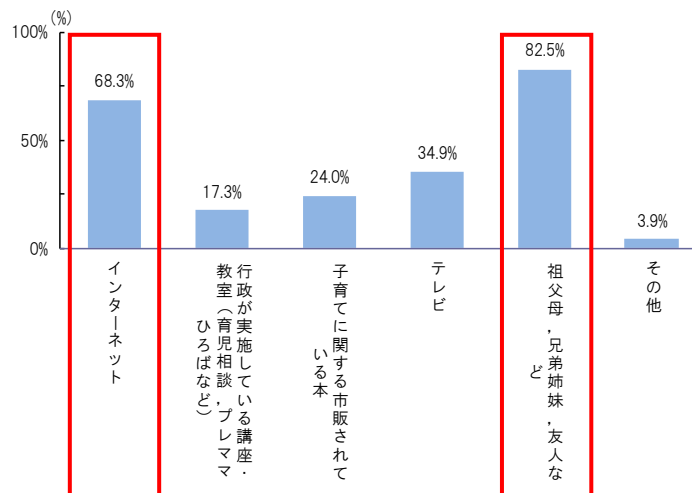
・ストレスの解消法としては、「友人や同じ環境の方とお話をする時間を作る」(約 68%)、「子どもから一時的に離れてリフレッシュする時間をもつ」(約 62%)が多い。しかし、「ファミリーサポートセンター事業」等の利用状況(問 17-1)、「サロン・サークル等の交流事業」の利用状況(問 21)などから、身近な交友関係での解消にとどまっていると考えられる。

■ストレスの解消法について (N=1,577)



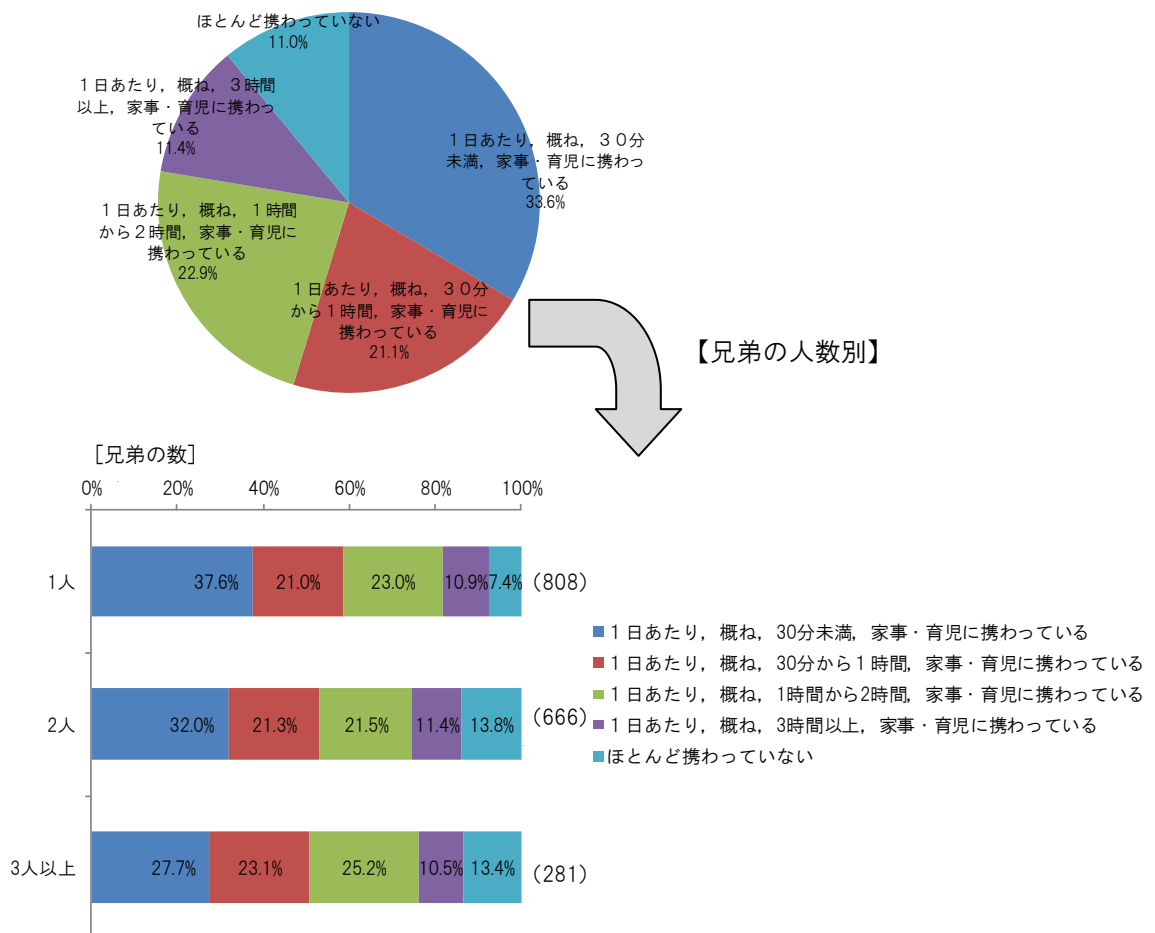
問 23 子育てに関する情報の入手法について (N=1,790)

・子育て情報の入手については、「祖父母・兄弟姉妹・友人など」(約 83%)や「インターネット」(約 68%)などが多い。



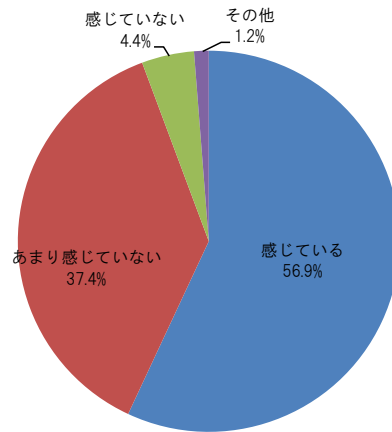
問 24 父親の平日における家事・育児に関わる時間について（※週平均で）（N=1,788）

- ・父親の平日における家事について、「2時間以内」が約78%となっている。
- ・平日、家事・育児にほとんど関わっていない父親は11%であった。
- ・兄弟の人数別でみると、1日の家事・育児が「30分未満」という回答は兄弟の数が増えるほど減り、「30分から2時間」という回答は兄弟の数が増えるほど増加する傾向にある。しかし、「ほとんど携わらない」とする回答は、兄弟が複数の方が多くなっている。
- ・国のデータでは、多子になるほど育児への参加時間が増える傾向である。本市では参加率（1日あたり30分以上の参加）は多子になるほど高いが、育児に参加しない父親の割合も多子ほど高くなる傾向となっている。類似他市に比べて、母親の「家事や子育てに専念したい」割合が高い傾向と関連していると思われ、父親に育児への参加を促すための対応が必要と思われる。

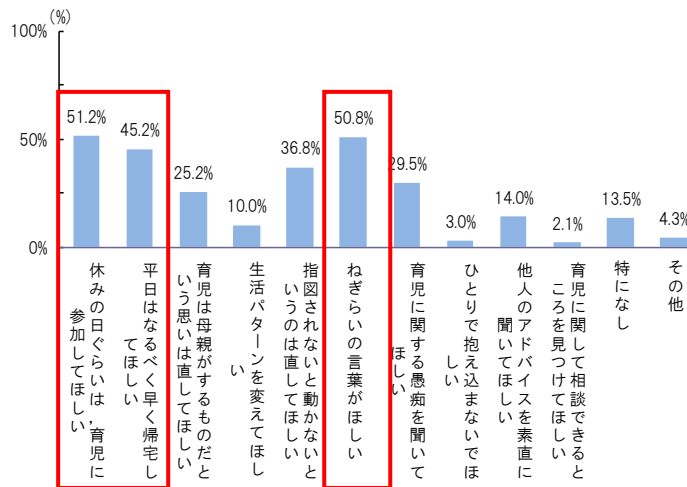


問 25 子育てに関して、夫婦で分かちあっている実感について (N=1,779)

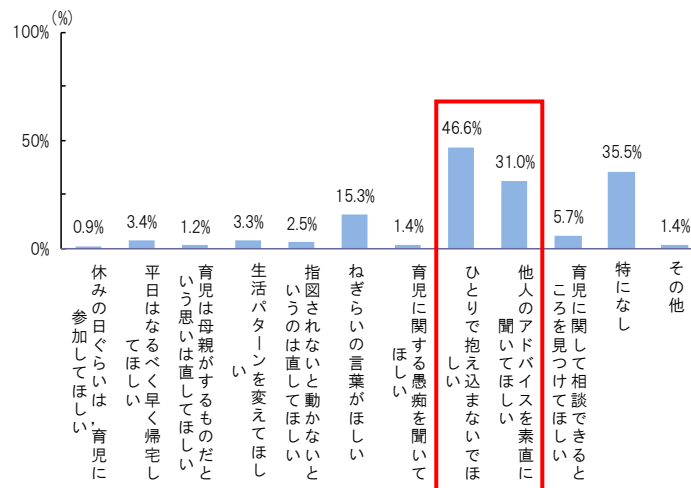
- ・子育てに関して夫婦で分かちあっている実感について、「感じている」が約 57%と多い。
- ・しかし、母親から父親への期待では、「休みの日ぐらいは、育児に参加してほしい」(約 51%) や「平日はなるべく早く帰宅してほしい」(約 45%) など、実際には父親の育児への関わりが不十分であると感じていると思われる。
- ・父親から母親への期待では、「ひとりで抱え込まないでほしい」(約 47%)、「他人のアドバイスを素直に聞いてほしい」(約 31%) など精神的な面に係わる回答が多い。



■子育てに関して母親から父親への期待について (N=1,753)

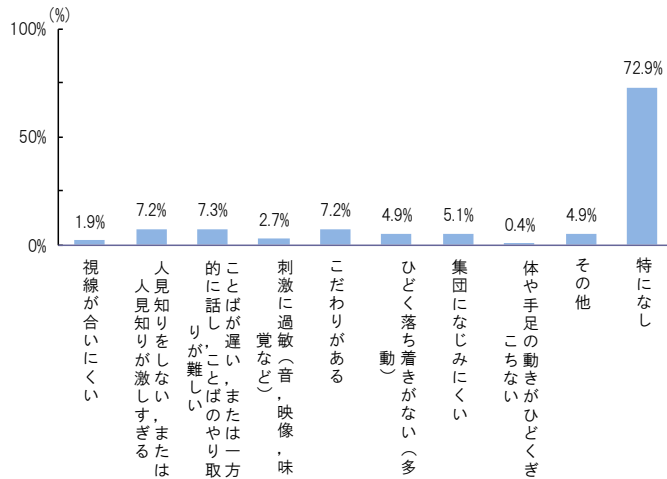


■子育てに関して父親から母親への期待について



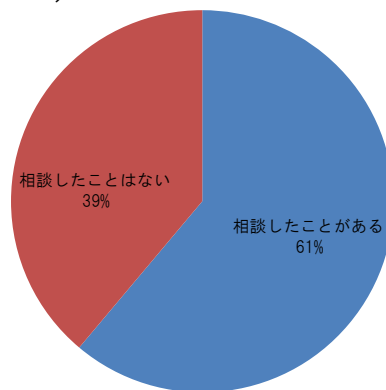
問 27 子どもが成長する中で、次のような状態を心配したり、他の人に指摘されたことについて (N=1,715)

・子どもの成長過程での心配ごとなどがあるとの回答は少ないが、その中で約 61%が「相談したことがある」と回答している。



【問 27 で「①～⑨」の番号」の方】

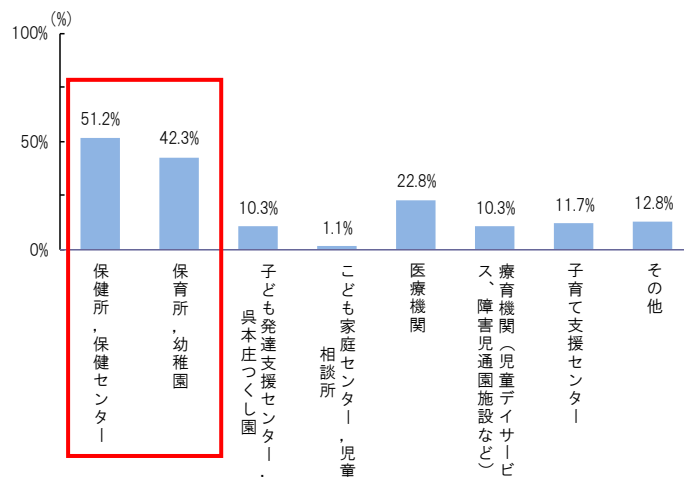
■相談の有無について (N=463)



【「①相談したことがある」の方】

・相談先としては、「保健所、保健センター」(約 51%)、「保育所、幼稚園」(約 42%)が多く、気軽に相談する相手先として多い(問 12)「祖父母等の親族」や「友人や知人」などよりも専門的な相談先として利用されている。

■相談したことがある場合、相談先について (N=281)

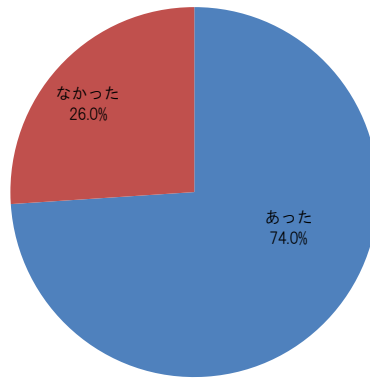


（7）病気の際の対応について【平日の教育・保育を利用する方】

【問 17 で「1. 利用している」を選ばれた方】

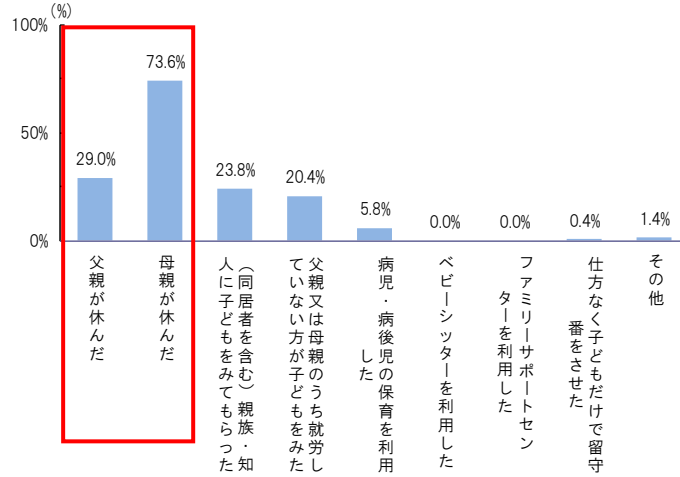
問 30 この1年間に、病気やケガで通常の事業（幼稚園、保育所など）が利用できなかったことについて（N=1,160）

- ・病気やけがで利用できなかったことについて、「あった」が約 74%であった。
- ・その対処法としては、「母親が休んだ」が約 74%が多い。
- ・「父親が休んだ」または「母親が休んだ」方への病児・病後児のための保育施設等の利用では、「利用したい」は約 24%であった。希望する利用日数は、3日（22.9%）が最も多く、5日までで約 75%を占めている。



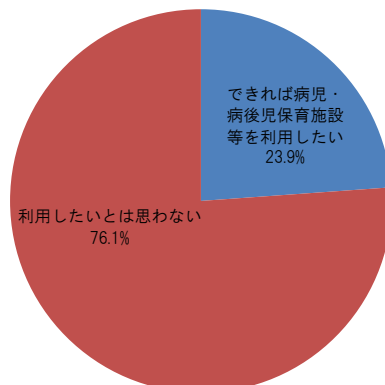
【「①あった」の方】

問 30-1 この1年間の対処方法について（N=799）



【「①父親が休んだ」、「②母親が休んだ」の方】

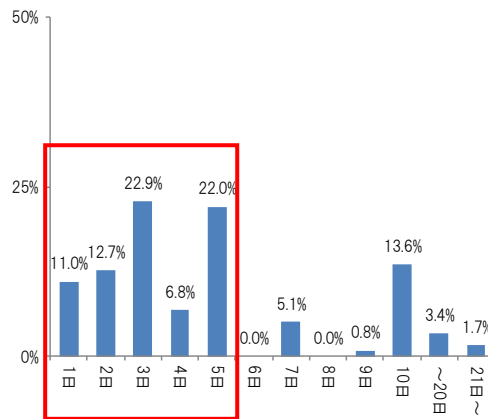
問 30-2 ■病児・病後児のための保育施設等の利用について（N=641）



- ・「父親が休んだ」または「母親が休んだ」方への病児・病後児のための保育施設等の利用で、「利用したくない」（約76%）理由としては、「他人に看てもらうのが心配」（約60%）、「利用料がかかる・高い」（約56%）が多い。
- ・対処法の類似他市との比較では、呉市は「親族・知人に子どもをみてもらった」が他市の半分程度と少なく、病気になったときの助けが、身近で得にくい状況であると思われる。

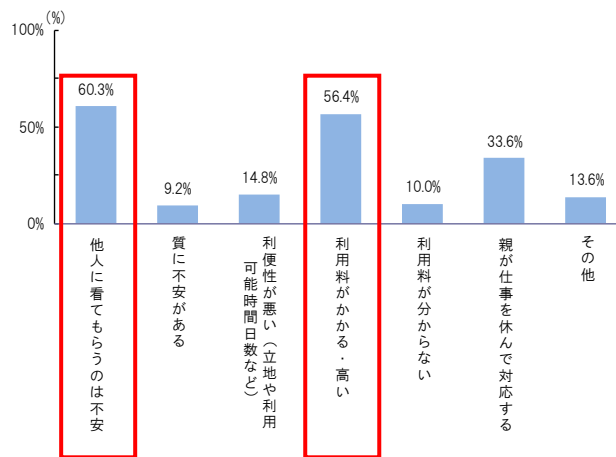
【「①できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の方】

■利用日数 (N=118)

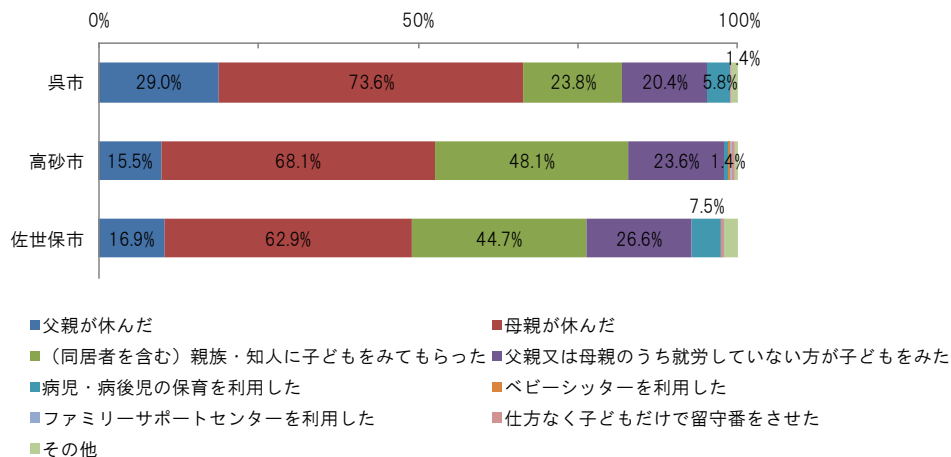


【「②利用したいと思わない」の方】

■利用したいと思わない理由 (N=479)



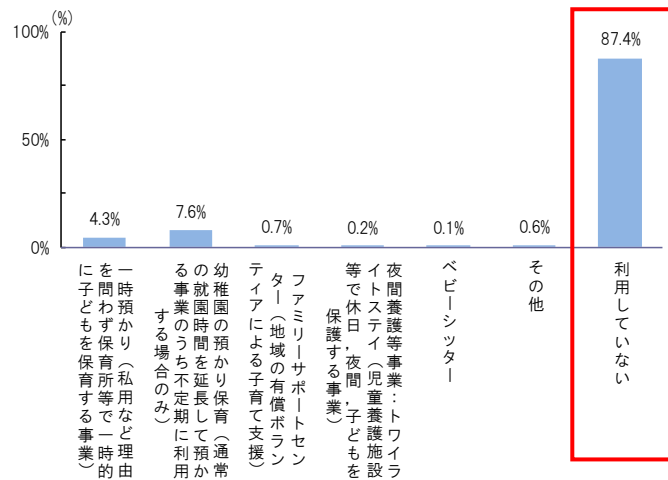
【類似他市（高砂市、佐世保市）との比較】



（８）不定期な教育・保育事業や宿泊を伴う一時的な預かり等の利用について

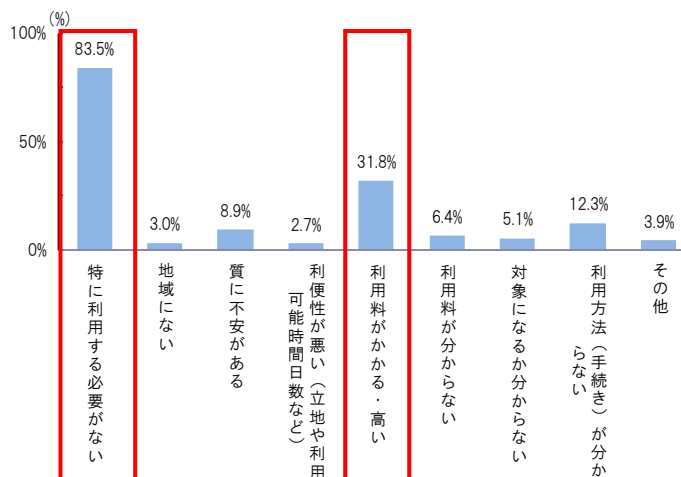
問 31 日中の定期的な保育や病気以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、不定期な就労目的で、不定期に利用している事業について（N=1,720）

- ・ 不定期な教育・保育事業の利用については、「利用していない」が約 87%で多く、「幼稚園の預かり保育」（約 8%）、「一時預かり」（約 4%）など利用が少ない。
- ・ 「利用していない」理由としては、「特に利用する必要がない」（約 84%）、「利用料がかかる・高い」（約 32%）が多い。



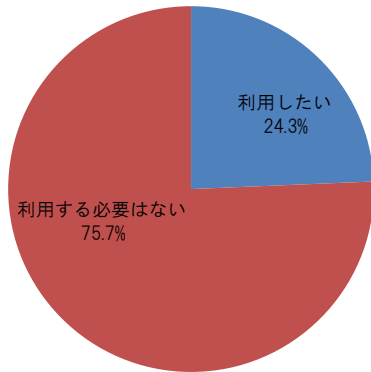
【「⑦利用していない」の方】

問 31-1 現在、利用していない理由について（N=1,500）

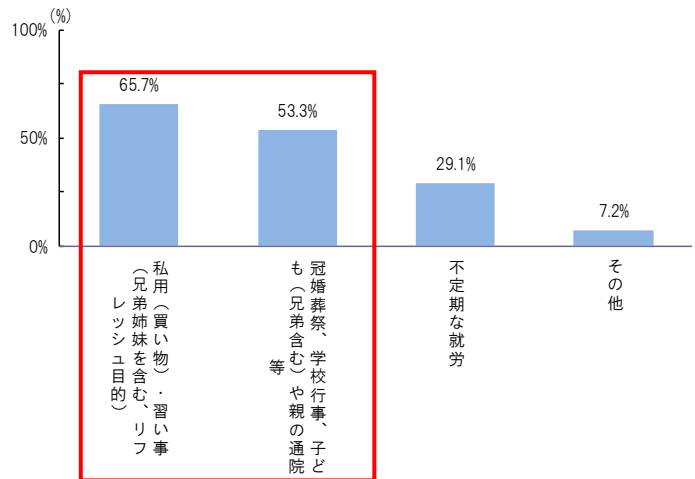


問 32 不定期な教育・保育事業の利用希望について (N=1,664)

- ・不定期な教育・保育事業について、「利用したい」は約 24%であった。
- ・利用目的の内訳では、「私用（買物）・習い事」（約 66%）、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（約 53%）が多い。

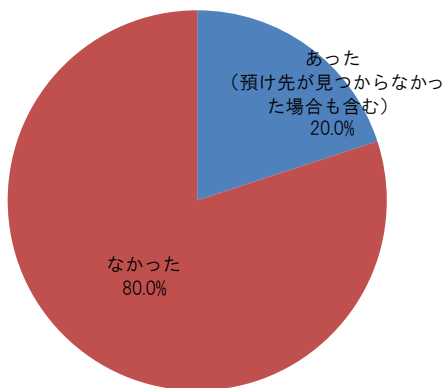


■利用目的の内訳 (N=405)

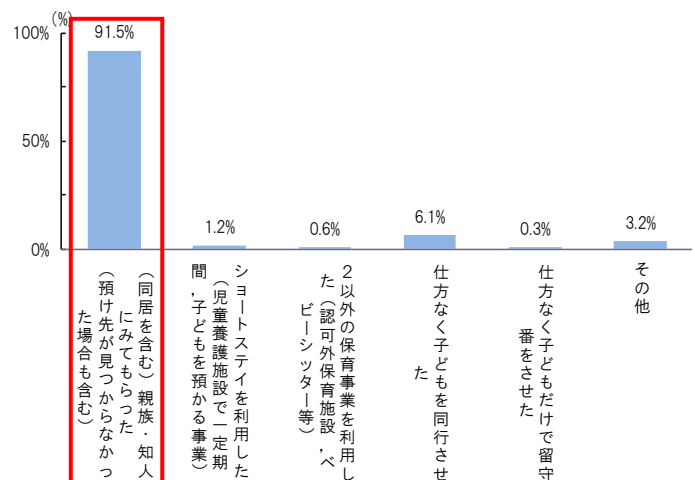


問 33 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）で、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことについて (N=1,733)

- ・保護者の用事で、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらったことについては、「あった（預け先が見つからなかった場合も含む）」が約 20%であった。
- ・その内訳では、「（同居を含む）親族・知人に看てもらった」が約 92%で多い。



■この1年間の対処方法について (N=342)



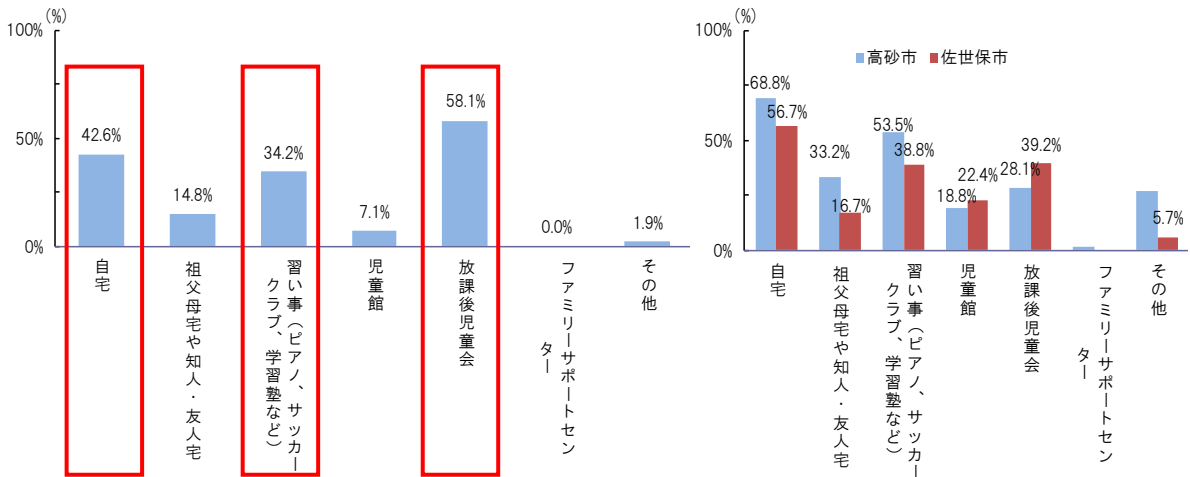
(9) 子どもが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 34 放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方について

- ・ 放課後の過ごし方については、全学年を通じて「自宅」、「習い事（ピアノ、サッカークラブ、学習塾など）」、「放課後児童会」が多い。
- ・ 高学年と低学年を比較すると、高学年では「自宅」、「習い事」について「祖父母宅や知人、友人宅」が増加し、「放課後児童会」の希望は減少している。
- ・ 類似他市との比較では、高砂市、佐世保市でも高学年になると、「自宅」、「習い事」の割合が増加し、「放課後児童会」の割合が減少しおり、同じ傾向となっている。

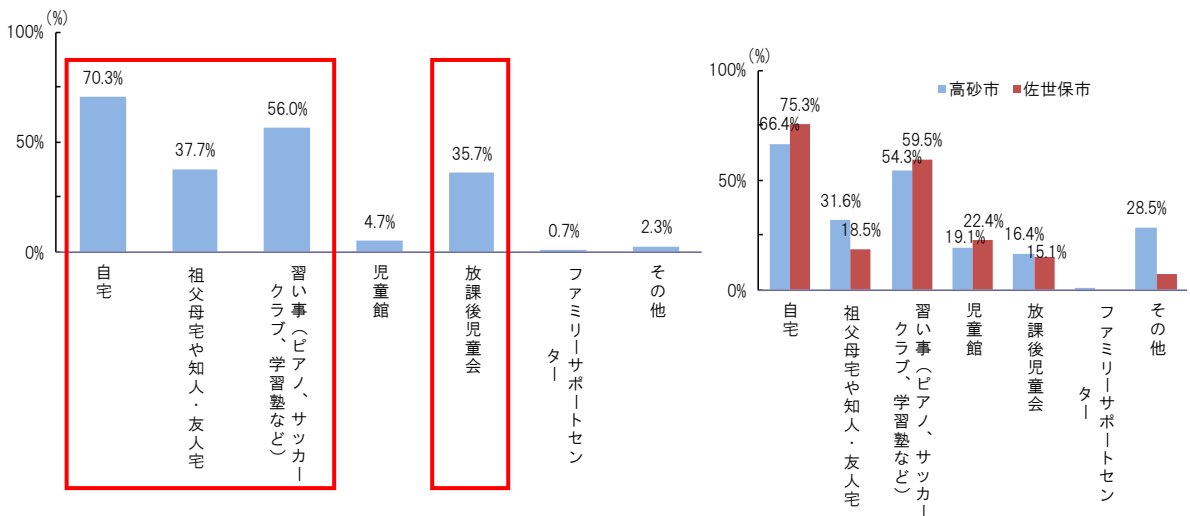
ア. 小学校低学年（1～3年生）(N=310)

【類似他市（高砂市、佐世保市）との比較】



イ. 小学校高学年（4～6年生）(N=300)

【類似他市（高砂市、佐世保市）との比較】

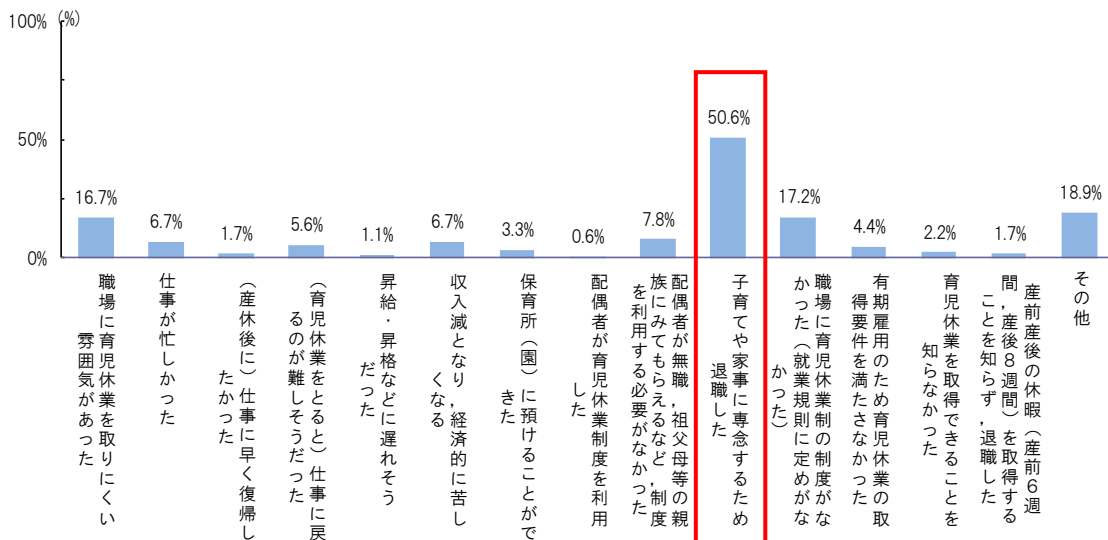


(10) 育児休業制度の利用についてうかがいます

問 37 (取得しなかった理由)

- ・母親が育児休業制度を利用しなかった理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が約51%で最も多い理由となっている。
- ・父親が育児休業制度を利用しなかった理由については、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(約48%)が最も多く、「配偶者が育児休業制度を利用した」(約38%)、「仕事が忙しかった」(約33%)が多くなっている。

(母親) (N=180)



(父親) (N=1,412)

